

## 賀寿期五歳層

### 傘寿期（80歳～84歳） 昭和8年～昭和4年

「傘寿」は数え80歳をいいます。数えですから2013年には昭和9年生まれの方が傘寿ということになります。これも生活実感からすれば満年齢がいいと思うのですが、しきたりではそうなります。ここは満年齢による五歳層ですから差しつかえないのですが。

ご存じのように傘の略字「傘」が八十と読めることから、80歳を「傘寿」と呼んでお祝をします。男性はどうやら平均寿命に達したところ、女性はゆうゆうクリアの年齢です。

「やそ」と読めば作詞家の「西条八十」がしのばれます。八十は本名です。九（苦）はなくともよいという親ごころからの命名ということです。みなさんの愛唱歌である「青い山脈」「蘇州夜曲」「王将」など、軍歌では「同期の桜」の作詞者です。しかし西条八十は八〇歳まではとどかず、1970年に惜しいかな七十八歳で亡くなりました。苦のない80歳なんていいですね。

ここでは満年齢の5歳層としての「傘寿期」を下のように設定しています。人名録でみるとおり、昭和7年生まれの80歳には、2012年の総選挙で「暴走老人」として、東京都知事をやめて「日本維新の会」を率いた石原慎太郎氏がいます。作家の五木寛之氏は9月30日の同日うまれ。この年生まれの女性には、有馬稲子、伊藤絹子、岸恵子、樋口恵子、堂本暁子さんといったそうそうたる才女が揃っています。

昭和8年生まれの80歳には、森村誠一、渡辺淳一、渡辺貞夫、永六輔、扇千景、黒柳徹子、菅原文太、平幹二郎氏とみてくると、傘寿期の豊かさが身近に伝わってきます。

## 賀寿期五歳層のステージ

2013年では、

百寿期（100歳以上）	大正2年以前
白寿期（95歳～99歳）	大正7年～大正3年
傘寿期（90歳～94歳）	大正12年～大正8年
米寿期（85歳～89歳）	昭和3年～大正13年
<b>傘寿期（80歳～84歳）</b>	<b>昭和8年～昭和4年</b>
喜寿期（75歳～79歳）	昭和13年～昭和9年
古希期（70歳～74歳）	昭和18年～昭和14年
還暦期（60歳～69歳）	昭和28年～昭和19年

<注>平成24年は大正102年、昭和88年に当たります。

「平和団塊（昭和21年～25年）」の人びとがすべて還暦期に。

## 三世代年表 生年別の人口（男・女）、流行語、流行歌

◇「高年期（傘寿期）」（八〇～八四歳） 人口は二〇一〇年一〇月一日。「国勢調査」総務省統計局

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九三三	昭和 八	癸酉八〇傘寿	五・一・九	六・七・八 転向。ファシスト。「東京音頭」「島の娘」
一九三二	昭和 七	壬申八一	四・八・九	六・五・四 話せば判る。欠食児童。「影を慕いて」
一九三一	昭和 六	辛未八二	四・五・一	六・二・四 生命線。酒は泪か溜息か。「サムライニッポン」
一九三〇	昭和 五	庚午八三	四・〇・六	五・八・四 エロ・グロ・ナンセンス。「祇園小唄」「酋長の娘」
一九二九	昭和 四	己巳八四	三・七・二	五・六・〇 大恐慌。大学は出たけれど。「東京行進曲」

## 昭和シニア人名録

**物故者**も最近の人やまだ心の中に生きつづけている（話題になる）人は残してあります。

ご自分と「賀寿期」をともに生きる「知名人」の方の小録としてご参考までに。

ご紹介できるのは少数ですが、これだけの優れた人びとが、長年かけてつちかった知識・技能・経験そして築き上げた人格を保って活躍している姿がいつも見えているような社会が、「本格的な日本高齢社会」です。

**傘寿期**（八〇歳～八四歳） 昭和八年～昭和四年

一九二九年（昭和四年）年

**加藤郁乎**（一・三 俳人） **増田れい子**（一・五 ジャーナリスト） 三遊亭圓歌（一・一〇 落語家） 神山繁（一・一六 俳優） 三木多聞（二・六 美術評論） 田沼武能（二・一八 写真家） 西川杏太郎（三・九 日本美術史） 大塚正徳（三・一〇 薬理学） 三遊亭金馬（三・一九 落語家） 犬塚弘（三・二三 俳優） 津本陽（三・二三 小説家） **三枝和子**（三・三一 小説家） **小沢昭一**（四・六 俳優） 永井一正（四・二〇 デザイナー） 加賀乙彦（四・二二 小説家） 鈴木道彦（四・二六 フランス文学） **平岡篤頼**（五・二 フランス文学） **仲谷昇**（五・四 俳優） **板東三津五郎**（五・一四 歌舞伎俳優） 奥平康弘（五・一九 憲法学） 高橋治（五・二三 小説家） 長野敬（六・六 生物学） 島田陽子（六・七 詩人） **都筑道夫**（七・六 推理作家） 栗田勇（七・一八 フランス文学） 笹原正三（七・二八 レスリング協会） 磯村尚徳（八・九 ジャーナリスト） 早坂暁（八・一一 小説家） 松下圭一（八・一九 政治学） サトウサンペイ（九・一一 漫画家） **新井直之**（九・二一 ジャーナリズム論） 中江利忠（一〇・四 ジャーナリスト） **鈴木尚之**（一〇・五 脚本家） 志賀信夫（一〇・二三 放送評論） **高松英郎**（一〇・二四 俳優） **鈴木章夫**（一一・七 胸部外科学） 納谷悟朗（一一・一七 演出家） 奈良岡朋子（一二・一 俳優） 塚田理（一二・三一 神学）

一九三〇（昭和五年）年

**佃公彦**（一・一 漫画家） 辰濃和男（一・一 ジャーナリスト） 高橋信孝（一・三 農薬学） **内田満**（一・四 政治学） 菅野昭正（一・七 フランス文学） 森川俊夫（一・七 ドイツ文学） 我妻堯（一・九 母子保健） 野村万蔵（一・一〇 狂言師） **三宅久之**（一・一〇 政治評

論) 田中一光 (1・13 デザイン) 新珠三千代 (1・15 俳優) 東松照明 (1・16 写真家) 不破哲三 (1・26 政治家) 大賀典雄 (1・29 企業経営) 小此木啓吾 (1・31 精神医学) 粕谷一希 (2・4 編集者) 牛山純一 (2・4 映像記録) 近藤淳 (2・6 物性物理) 三輪秀彦 (2・10 フランス文学) 荒瀬豊 (2・15 マスコミ史) 榎本滋民 (2・21 演出家) 飯島耕一 (2・25 フランス文学) 日高敏隆 (2・26 昆虫学) 松山幸雄 (4・1 ジャーナリスト) 竹村健一 (4・7 評論家) 松永伍一 (4・22 評論家) 秋山駿 (4・23 文芸評論) 加藤秀俊 (4・26 社会学) 坂根徹夫 (4・27 科学評論) 高橋英夫 (4・30 ドイツ文学) 板倉聖宣 (5・2 科学教育) 半藤一利 (5・21 作家論) 熊井啓 (6・1 映画監督) 和田勉 (6・3 演出家) 阿部進 (6・11 教育評論) 平山郁夫 (6・15 画家) 妹尾河童 (6・23 舞台美術) 左幸子 (6・29 俳優) 中島誠 (7・2 文芸評論) 深作欣二 (7・3 映画監督) 秋谷栄之助 (7・15 宗教家) 高島忠夫 (7・27 俳優) 正木馨 (8・4 社会保険) 芦田淳 (8・21 服飾デザイン) 藤岡琢也 (9・4 俳優) 長沼健 (9・5 サッカー) 鈴木章 (9・12 化学者) 竹内宏 (9・13 経済評論) 有馬朗人 (9・13 原子核物理) 石川喬司 (9・17 評論家) 東野芳明 (9・28 美術評論) 大山克巳 (9・30 俳優) 佐藤忠男 (10・6 映画評論) 野坂昭如 (10・10 作家) 渡部昇一 (10・15 評論家) 西村寿行 (11・3 作家) 水尾比呂志 (11・7 美術史家) 黒木和雄 (11・10 映画監督) 大庭みな子 (11・11 作家) 俵萌子 (12・7 評論家) 名古屋章 (12・8 俳優) 佐々淳行 (12・11 安全保障) 諸井誠 (12・17 作曲家) 小田島雄志 (12・18 演劇評論)

#### 1931 (昭和6) 年

行天豊雄 (1・2 国際金融) 海部俊樹 (1・2 政治家) 明石康 (1・19 元国連事務次長) 小松左京 (1・28 作家) 牛尾治朗 (2・12 企業経営) 大岡信 (2・16 詩人・評論) 白石かずこ (2・27 詩人) 常盤新平 (3・1 翻訳家) 篠田正浩 (3・9 映画監督) 福原義春 (3・14 企業メセナ) 三浦哲郎 (3・16 作家) 犬養智子 (4・18 評論家) 猪谷千春 (5・20 スキー) 野村万作 (6・22 狂言師) 磯崎新 (7・23 建築家) 山口昌男 (8・20 文化人類学) 鹿野政直 (8・20 歴史学) 岡野俊一郎 (8・28 サッカー) 山田洋次 (9・13 映画監督) 曾野綾子 (9・17 作家) 宇津井健 (10・24 俳優) 正村公宏 (11・15 経済学) 谷川俊太郎 (12・15 詩人) 坂田藤十郎 (12・31 俳優)

#### 1932 (昭和7) 年

二上達也 (1・2 将棋棋士) 高階秀爾 (2・5 美術評論) 広岡達朗 (2・9 プロ野球) 世良譲 (3・10 ピアニスト) 大沢啓二 (3・14 プロ野球) 平岩弓枝 (3・15 作家) 早乙女勝元 (3・26 作家) 本多勝一 (3・28 ジャーナリスト) 大島渚 (3・31 映画監督) 富田勲 (4・22 音楽家) 高井有一 (4・27 作家) 樋口恵子 (5・4 評論家)

黒井千次（5・28 作家） 小田実（6・2 評論家） 藤井裕久（6・24 政治家） 宇井純（6・25 化学工学） 内橋克人（7・2 評論家） 遠藤実（7・6 作曲家） 青島幸男（7・17 作家） 堂本暁子（7・31 千葉県知事） 岸恵子（8・11 俳優） 小林亜星（8・11 作詞・作曲） 岩城宏之（9・6 指揮者） 杉浦康平（9・8 デザイン） 石原慎太郎（9・30 都知事・作家） 五木寛之（9・30 作家） 森田実（10・23 政治評論） 渡辺美佐子（10・23 俳優） 仲代達矢（12・13 俳優）

1933（昭和8）年

森村誠一（1・2 作家） 三遊亭円楽（1・3 落語家） 市川昭介（1・4 作曲家） 岡田茉莉子（1・11 俳優） 藤本義一（1・26 作家） 渡辺貞夫（2・1 音楽家） 一柳慧（2・4 作曲家） 白旗史朗（2・23 写真家） 青井忠雄（3・3 企業経営） 浅利慶太（3・16 演出家） 香西泰（3・22 日本経済論） 篠弘（3・23 歌人） 永六輔（4・10 放送タレント） 天野祐吉（4・27 コラムニスト） 扇千景（5・10 政治家） 池坊専永（7・21 華道家元） 黒柳徹子（8・9 俳優） 菅原文太（8・16 俳優） 渡辺淳一（10・24 作家） 池内淳子（11・4 俳優） 高島通敏（11・16 政治学） 平幹二郎（11・21 俳優） 中沢桂（11・23 声楽家） 柿沢弘治（11・26 政治家） 辻村ジュサブロー（12・15 人形作家）